

令和4年12月27日

報道各位

一般社団法人
全国公私病院連盟
会長 邊見公雄

照会先：地域医療・介護研究会 JAPAN
TEL 075-366-6333
FAX 075-366-3334
携帯 090-7106-2428

紙上記者会見要旨

全国公私病院連盟の11月の「理事会」（11月4日）と12月の「理事会」（12月7日）をオンライン方式で開催しました。出席した役員からの声、課題、要望等を聞き取りまとめましたので報告します。

1. 薬関係

- (1) 薬価の中間年改定、病院は色々な点で不利益
 - ① そもそも安く買っているのは大手調剤薬局で、病院の薬価差は7%もない。
 - ② 在庫分値下がり。
 - ③ 調査報告の手間。

- (2) 薬品の流通
 - 欠品、入手遅れ未だ解消されず。

- (3) 病院薬剤師不足
 - 初任給の高い調剤薬局へ（医薬分業の本筋とは逆方向、患者ファーストなら癌や難病の多い病院の薬が大切な筈）

2. 勤務医の働き方改革

- (1) 救急を大学の先生にお願いしていたが出せないと…。輪番や民間病院の救急体制が危ないとの意見がかなりあった。
- (2) ハブ病院を決めて2次、3次を集約、翌日に後方支援病院に転送ということを考えている県もあった。
- (3) 連続勤務ができないので、1人医師や少数医師の診療科の宿日直を悩んでいる。
- (4) 時間外で生活や研修の費用を出している若手医師は、実質収入がダウンするので開業するのではないかと。給与面の改善も必要と。

3. かかりつけ医制度

- (1) ちゃんと24時間365日診てくれないと、患者さんが病院に直接来る。
- (2) 「なんちゃってかかりつけ医」がずっと続くのは困る。
- (3) グループ制とか地域医師会がリーダーシップをとって欲しい。

4. 医療DX

- (1) 医療DXは全ての分野でほとんど病院の負担。今回の電子処方箋の補助も少なすぎる。サイバー対策も防衛費と同じ。
- (2) 初めにスケジュールありきで現場やベンダーの意見をあまり採り入れず、拙速、無理。
- (3) 個人署名では日医非会員は5500円かかる。
- (4) IT人材が足りないし、今の診療報酬では給料が払えず、居ても確保が難しい。病院単位で認めないと進まない。

5. コロナ対策

社会はウイズコロナでも、病院はゼロコロナにしないと一般医療の

患者に感染させられない。

また、職員の感染で診療活動低下するので、補助は継続必要。

6. 物価の高騰

電気代、ガス代、食材費、医療機器が値上がり、薬価を下げるのなら給食費（食事療養費）を上げるのが先では。

※ これらのうちいくつかは11月8日の自由民主党「令和5年度予算・税制改正等に関する政策懇談会」に、連盟代表が出席し要望、質疑が行われた。

（参考）自由民主党先生方

壇上の先生方	加藤 鮎子・自民党	厚生関係団体委員長
	齋藤 健・自民党	団体総局長
	田畑裕明・自民党	厚生労働部会長
出席・発言	三ツ林裕巳議員	
	自見はなこ議員	
	古川俊治議員	
	石川昭政議員	他

注：消費税原則課税化は昨年よりずっと継続なので要望のみ。
理事会では議論なし。

以上